

| 項目 | 意見 |
|----------------|---|
| 1 公から民への施策転換 | <p>委託には任せたら事後の報告と透明性を意識した指導・管理をしっかりと行うことが必要。 市民自体から見た要望等のテーマとその解決策を自らで考える場づくりをし、市民自体でできること、地域自体でできることへの方向に向きを変えていく。</p> |
| 2 定員削減と職員の意識改革 | <p>行政職全体が市民の立場に軸足を置いた意識改革が必要。 前例踏襲主義の排除、そのためには、部門内の横断的情報交換を徹底的に行い自分の所属する部署全体の業務を理解させ、また、社会全体の変革に対応できる研修を実行、あるいは仕組みを取り入れること。</p> |
| 3 財政の健全化 | <p>入るを測って出づるを制することに徹する。効率化意識が常に働く行政マン作りをし、石巻市自体が発展したら永続させていく意識が根底にあること。 社会が高齢化になり、より複雑化になり、内部事務は輻輳が予測されるが、徹底した効率化を図ることが必要。</p> |
| 4 成果志向の行政経営 | <p>現在の行政経営組織情報の開示と、これから先、行政が目指す方向の中で、優先順位を明示し、これが対応への組織をより活性化させる姿を示すことが必要。（石巻市独自のオリジナリティを作ること。）</p> |
| 5 市民志向と説明責任 | <p>市民参加意識を高める方策が必要、そのうえで市民自らに気づきを与える情報の在り方と手段にも一考を要す。 ホームページを活用することは勿論であるが、超高齢社会にはもう1つ情報の在り方を加えることも必要。</p> |